

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年1月28日(火)13時30分～14時20分
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、内海研開炉係長、佐々木技術参与
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他3名
三菱重工業株式会社
新型炉・原燃サイクル技術部 新型炉プラント設計課 主任

5. 要旨

○原子力機構から、前回の面談から引き続き、審査中の廃止措置計画変更認可申請（模擬燃料体の部分装荷）における部分装荷時における影響評価について、資料を用いて案の説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通り伝えた。

- ・もんじゅの模擬燃料体の部分装荷時における影響評価において、群振動解析において評価した跳び上がり量について、過去の試験結果（もんじゅ燃料単体の試験結果）を踏まえ、解析結果が概ね妥当であることを総合的に判断する方針であるならば、以下の点について説明が不足しているので、次回以降の面談等にて示すこと。

①評価試験時の水平方向の加振の影響

②水平方向の跳び上がり抑制効果としてのエントランスノズルの影響

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. その他

資料1：模擬燃料体の部分装荷に係るコメント回答（No. 25）

資料2：燃料体の跳び上がり量評価に関する試験による確認